

決算特別委員会会議録

作成者 議会事務局 副主幹 石井繁治

日 時 平成28年9月20日（火）午前9時30分～午後4時23分

場 所 庁舎3階 第一会議室

出席者 田辺正弘委員長、前之園孝光副委員長、森建二委員、蛭田公二郎委員、石渡登志男委員、
倉持安幸委員

議会事務局 秋本事務局長 石井

《概 要》

1 開 議

2 審査事項

【健康増進課審査】午前9時30分～午前10時10分

出席職員：石原課長、伊藤副課長、川寄班長

健康増進課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

蛭田委員 15・19ページ、前立腺がん、胃がんの受診率は伸びているのか。

伊藤副課長 胃がん検診は微増、前立腺がんは横ばいである。

蛭田委員 受診率上げるためのPRについて、市の助成があるとか、周知の方法は。

石原課長 ホームページ、広報、個別通知、他の集まりがある度に周知している。マリンののぼり旗の作成してPRした。

蛭田委員 これだという周知ができればいいのだが。

田辺委員長 今年の案内はカラーで見やすい。

石原課長 高齢者は、一緒に周知すると分かりにくくなる。

田辺委員長 今年からパターン変えたのか。

伊藤副課長 平成21年度から徐々に毎年変化をつけ周知している。

前之園副委員長 1ページ、健康衛生費の減、内容、理由は。他の減の説明を。

伊藤副課長 未熟児対象者の減、女性特有のがん検診とがん検診推進事業を同時に行った。がんクーポン検診助成、受けたことのない未受診者を受けさせたため。

森 委員 17ページ、こども個別接種の内容は。

伊藤副課長 日本脳炎、肺炎球菌、集団で出来なかつたりしたとき、病院で全ての定期の接種を行っている。

森 委員 子どもに個別に行うということか。小学生以下か。内訳は。

伊藤副課長 乳幼児、小学生が対象である。

森 委員 資料の作成を。

田辺委員長 資料の提出を。

石渡委員 13ページ、検査結果の通知は。

伊藤副課長 種類により封筒などで通知している。異常があっても、なくても通知している。

石渡委員 検査結果と封筒に書かれていると、気にする住民がいる。配慮をお願いする。

前之園副委員長 11ページ、山武郡市広域組合負担金、内訳は。

石原課長 山武郡内市町で人口割10%、診療利用者40%、2次救急利用、50%で算出している。

前之園副委員長 東金市、山武市に比べどうか。

石原課長 東金市、山武市、大網白里市の順だと思う。

蛭田委員 19ページ、骨量検診とは。対象は。

石原課長 骨量とは骨密度のこと。対象は女性である。

前之園副委員長 検診の国保の割合は。検診率の向上は。

伊藤副課長 社保加入者は社保で検診しているので、市で行う検診はほとんどが国保加入者となる。検診通知は個別に通知している。工夫を考えたい。

倉持委員 16ページ、予防医は市内か。

伊藤副課長 全員市内の医師である。

倉持委員 23ページ、歯ッピーもぐもぐ、こどもにどう教えるのか。

伊藤副課長 1歳を過ぎた子どもに、簡単なおやつ食べてもらい、歯磨き指導をしている。そのほか絵本を読んでもらっている。

倉持委員 かみあわせは大事。かみ合わせの悪い子はいるのか。

石原課長 かまないの、顎の発達悪い。かみ合わせの悪い子は以前より増えている。

とりまとめ

倉持委員 正副委員長一任

前之園副委員長 ・各課と連携を図り、予防接種やがん検診などの二次予防だけでなく、一次予防についても活動の強化を検討されたい。

・各種検診事業については、より一層の啓発推進に取り組み受診率の向上を図るとともに、事後指導と効果等の検証に努められたい。

— 休憩 —

【高齢者支援課審査】 午前10時15分～午前11時7分

出席職員：町山課長、小田川副課長、鈴木班長、戸田班長

高齢者支援課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

蛭田委員 13ページ、老人保護施設は市外なのか。

町山課長 特別養護老人ホームの坂田苑は行政組合が運営し横芝光町。光楽園は社会福祉法人が運営し横芝光町。猿田荘は目の見えない方の施設で銚子市にある。

森 委員 12ページ、はり、きゅう、マッサージの利用票交付を366人に行っているが、高齢者の何割か、効果は。

町山課長 65歳以上が約14,000人いるので、約2.6%である。痛みを和らげる効果があると思われる。

前之園副委員長 1ページ、民生費補助金、減の理由は。介護保険特別会計繰出金の説明を。

町山課長 民生費補助金は、施設整備事業にかかる県の補助金。介護保険特別会計繰出金は、予算に基づく決算額を繰出した。

石渡委員 31ページ、介護ボランティア内容は。

町山課長 ボランティアに参加する高齢者の介護予防が目的。ボランティアの受け入れ施設の紹介をしている。1時間1ポイント、1日2時間まで、ポイントにより交付金として振り込んでいる。

戸田班長 10ポイント以上で1,000円と交換できる。5,000円が上限である。

石渡委員 周知方法は。

戸田班長 ボランティアをするには、登録研修会を受けてもらう。その時にお知らせしている。

蛭田委員 新しい総合支援事業、要支援1・2は各自治体で行うことになるが、だれが担うのか。それを見据えているのか。ボランティアとの関係は。

町山課長 計画の中に、介護ボランティアもある程度含まれている。

森 委員 ボランティアの研修を進めてもらいたい。33ページ、地域包括センターの職員5人は今年度になって増えているのか。

町山課長 平成27年4月に増員して保健師3人、社会福祉士2人、ケアマネは常勤でない嘱託として4人、合計9人。みどりの里、杜の街、受付業務を委託している。

森 委員 職員が忙しくて、介護認定の相談ができない状況のないように。話しをよく聞いてもらい。破綻することのないようにしてもらいたい。要望する。

前之園副委員長 2ページ、介護給付負担金の負担割合の説明を。1号保険者は。

町山課長 国の負担25%、支払基金交付金28%、県12.5%、市12.5%残り22%が1号保険者保険料、1号保険者は約14,000人。認定者約2,400人、利用者は約1,900人である。

蛭田委員 26ページ、認定調査、2次審査にかかる調査費か。流れは。

町山課長 申請を受け、調査員が家庭に伺い調査するのが1次調査、医師の意見書を付けて、共同設置の審査会に提出するのが流れ。その審査会にかかる費用である。

蛭田委員 なのはなに特養が設置されたが、補助金は。

町山課長 なのはなにについては、国県から直接業者へ補助金が流れている。地域密着型は市の補助金である。

蛭田委員 ユニット型、特養、施設ができて、1番のネックは働き手がないこと。

町山課長 介護する側の人がいなく、受け入れできない状況。資格持っている人に対し研修を予定している。これから資格を取得するのに、助成をする予算を計上した。

倉持委員 12ページ、緊急通報を受けた後の流れは。

町山課長 通報はアルソックへつながる。アルソックの判断で場合により救急車を要請する。その他、相談業務を行っている。

倉持委員 通報装置は、いくらか。

町山課長 装置の設置料として12,000円。月々の保守料3,000円。アルソックからレンタルする。

倉持委員 13ページ、坂田苑、光楽園、猿田荘の入所費は、入所待ちは。

町山課長 費用は施設により様々である。入所待ちはなし。

とりまとめ

- 前之園副委員長 ・高齢化に向けた介護予防事業の更なる充実に努められたい
・地域包括ケアシステムの充実に努められたい。

— 休 憩 —

【社会福祉課審査】 午前11時15分～午前11時50分

出席職員：安川課長、古川副課長、斉藤班長、谷川班長

社会福祉課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

石渡委員 34ページ、生活保護の世帯数、人数は。自立支援方法は、どのような対応をしているか。

谷川班長 平成28年4月1日現在の生活保護は、229世帯、281人である。常勤の就労支援員1名を配置している。ハローワークの就労コーディネーターが月3回来庁し就労面談を行っている。

前之園副委員長 就労支援は何名受けているのか。

安川課長 平成27年度は24名に就労支援を実施し、うち15名就労、うち10名が生活保護廃止となった。

前之園副委員長 効果は。お金に換算するといくらか。

谷川班長 約200万円。年度の後半に就労した者が多い。

石渡委員 一定の効果があつたと思う。頑張っていると思う。

田辺委員長 生活保護者に対し、定期的に見守っているのか。

安川課長 世帯の状況により、ケースワーカーが年間計画をたて訪問している。

田辺委員長 14ページ、社協職員給与について説明を。

安川課長 社協職員の給与は、市職員に準じている。

前之園副委員長 社協の人件費は何名分か。事務局長分は別か。

安川課長 社協職員の人件費は5名分である。事務局長については、派遣協定により一部負担している。

蛭田委員 29ページ、生活困窮者自立相談支援事業委託料は人件費なのか。生活困窮者居宅確保給付金の成果は。

谷川班長 昨年度は住宅確保給付金を5名が利用した。生活困窮者自立相談事業は、委託先からほとんどが人件費と聞いている。成果として平成27年度、新規受付165件、うち新規相談66件、プラン作成22件、ケース就労件数62件となっている。

森 委員 23・24ページ、障がい者自立支援事業、扶助の具体的成果は。

安川課長 居住での介護、施設入所支援、就労移行支援、地域相談支援、年々増加している。

森 委員 支援を受けてることによって、支援を受ける必要がなくなった方がいると思う。具体的な効果は。

安川課長 障がい者が地域で自立するのは、難しい。家族を含め、障がい者がより良い生活をしていくために一定の効果はあつた。

森 委員 昨年・一昨年的人数は。

古川副課長 平成27年度、296人、平成26年度、286人、25年度、288人である。

前之園副委員長 26ページ、庄ぜん跡地の計画は。

安川課長 平成27年度に地域福祉センターの建設の計画をたてるため動き出したが、平成28年1月1日から市街化調整区域の建築見直しがあり、条件により開発区域の可能性はある。平成27年度におい

て現行の市有地だけでなく、もう少し区域を広げて検討してはどうかという事になった。現在、区域を広げるにあたり民間の活力を生かしてなにかできないか検討している。

倉持委員 社協職員の採用は。

安川課長 採用は一次試験で筆記試験、二次試験で面接、市の職員と同様に行っている。

倉持委員 19ページ、医療法人静和会ゆりの木は、浅井病院の系列か。

安川課長 浅井病院の系列である。

前之園副委員長 18ページ、地域生活支援事業の後見人は、高齢者支援課と合同で行っているのか。

古川副課長 障がい者の後見人を社会福祉課で行っている。

蛭田委員 33ページ、生活保護システム改修の内容は。

谷川班長 マイナンバーに伴う改修である。

とりまとめ

前之園副委員長 ・生活保護受給者と生活困窮者の更なる就労支援及び自立支援を図りたい。

— 休 憩 —

【産業振興課審査】午後1時～午後1時40分

出席職員：北山課長、鬼原副課長、糸日谷室長、野口班長、内山主査

産業振興課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

石渡委員 36ページ、海水浴場駐車場業務委託料は、駐車場の料金徴収も含むのか。

北山課長 駐車料金徴収も含まれている。

石渡委員 警備委託料であれば回って警備してもらいたい。監視業務委託費の内容は。

糸日谷室長 監視員の人件費、ジェットスキー、パトロール車、救命用具、資材などが含まれる。

石渡委員 観光資源として10万人集められるのは、あそこしかない。お金を使っているのに、それに見合う施策をやってもらいたい。

森 委員 23ページ、両総土地改良関連事業の負担金、早めに償還することにより、軽減された金額は。

北山課長 約4億3200万円の軽減効果があった。

森 委員 38ページ、住宅リフォーム助成事業、上限ぴったりで終わったのか。

糸日谷室長 申請が予算額に達したので、打ち切りとした。

森 委員 もっと欲しかった人は、いたのか。

糸日谷室長 締め切った後、10数件の問い合わせがあった。

森 委員 空き家対策につながる。効果があるので広報をお願いしたい。

蛭田委員 リフォームに市内業者使うことは、経済効果がある。いつなくなったのか。需要にあった予算を要望する。

糸日谷室長 9月に終了した。

前之園副委員長 何割の補助か。

糸日谷室長 200万までの工事費に、10分の1を上限としている。

前之園副委員長 20ページ、瑞穂地区幹線道路整備事業、どの辺を行ったのか。土地改良の進捗状況、受益者

面積は。

鬼原副課長 第6工区の神房入口から天神池までの区間、7工区の萱野へ向かう路線を整備した。土地改良については、1月に換地公告し、概ね事業は終了した。本年度、登記が完了する。

蛭田委員 35ページ、魅力発信プロモーション推進業務委託料、DVDの内容、効果は。

糸日谷室長 国の交付金を活用した。観光客30万人目標としたが、実質26万人であった。

森 委員 観光は人を呼ぶイメージが大切、マリンを知ってもらいたい。いろいろなところに顔をだしてPRをお願いする。

委員長 プロモーション協議会、平成27年度の開催回数と職員の参加数は。

糸日谷室長 部会を2回開催し、職員1名を派遣している

委員長 31ページ、農商工連携事業補助金、地域間交流事業補助金の概要は。

糸日谷室長 農商工連携事業は商工会が中心となり、いわしコロケ、ピーコロ、真紅の美鈴、スイーツなど商品の開発をしている。地域間交流事業は姉妹町の中之条町の産業文化祭へ商工会青年部が伺い交流している。

田辺委員長 20ページ、瑞穂地区土地改良、換地は終わったとのことだが、工事はどうか。砂田の舗装は。

北山課長 工事に関しては、一部残っている。幹線道路は、茂原市境までの区間を順次実施していく。

前之園副委員長 図面は後でもらえるのか。

田辺委員長 資料の提出を。

前之園副委員長 31ページ、商工会補助金の内容、成果は。

糸日谷室長 市内商工業者の総合的な改善、発達、商店の賑わい、市内の消費拡大、商業への支援、活動に関する補助をしている。

倉持委員 27ページ、有害鳥獣駆除、何頭捕獲したのか。

野口班長 アライグマ51頭、ハクビシン16頭、イノシシ9頭、タヌキ5頭、カラス72羽である。

倉持委員 イノシシの捕獲に関する補助金は、茂原市では、捕獲の補助があると聞いたが。

野口班長 市から捕獲補助金はない。

とりまとめ

前之園副委員長 ・リフォーム助成事業については、継続して実施されたい。

・有害鳥獣駆除に取り組まれたい。

森 委員 ・観光プロモーション推進事業に積極的に取り組まれたい。

— 休 憩 —

【子育て支援課審査】 午後1時50分～午後2時25分

出席職員：松戸課長、糸井副課長、菊池班長、島田班長

子育て支援課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

森 委員 2ページ、児童福祉費保護者負担金、収納率は上がっている。保育料は、5年で時効か。

菊池班長 口座振替が収納額の増につながっている。保育料は5年で時効となる。督促、催告を行い収納に努

めている。

- 森 委員 基本的に受益者負担である。お金はどのように回収しているのか。月毎に行っているのか。
- 菊池班長 保育料の納入方法は、毎月月末に口座から引き落とし、口座振替ができない場合、納付書による支払と二通りの方法がある。支払う能力があるのに払わない悪質な方は、児童手当から引き落とししている。
- 森 委員 みどりが丘保育園、施設がカビ臭いと声を聴く。施設の運営についてもチェックをお願いしたい。
- 蛭田委員 11ページ、学童保育について、定員に余裕がある場合4年生を受け入れることになった。4年生を受け入れ可能な学校は。
- 菊池班長 平成27年度の法改正により、6年生まで引き上げられた。平成27年度に4年生を受け入れた学校は、増穂小、季美の森小、増穂北小である。
- 蛭田委員 4年生に限るのか、4年生以上なのか。
- 菊池班長 4年生から受けている。ただし希望あれば、5年生、6年生も受け入れられるようにしている。
- 前之園副委員長 37ページ、被用者と非被用者の違いは。
- 島田班長 被用者は、厚生年金加入者。非被用者は、国民年金に加入している方である。
- 委員長 母子家庭、父子家庭、手当をもらうに当って審査は行っているか。
- 島田班長 必ず年に1回現況届を窓口提出してもらっている。その時に、状況の変化があるかどうか職員が確認、聞き取りをしている。
- 委員長 法律上離婚しているのに同居している現状をみている。現状をチェックしているのか。
- 松戸課長 細かく聞き取りをしながら対応している。
- 前之園副委員長 28ページ、保育所運営費の算出根拠は、一人当たりいくらか。
- 菊池班長 施設型給付費は民間の保育所に支給する運営費は、国の基準により定員数により決まっている。一般的に0歳だと月15万円、1・2歳児は月10万程度、3歳児は8万円程度、4・5歳児は5万から6万円。毎月園へ支払う。
- 蛭田委員 子ども医療費、通院の場合一回300円を無料にできないか。無料にした場合の財政に与える金額は。
- 松戸課長 平成27年の決算ベースで約600万円である。
- 前之園副委員長 対象は小4までか。
- 島田班長 県の補助対象は小3まで通院・調剤・入院、小4から中学3年までは入院が県の補助対象である。
- 森 委員 33ページ、来春認めざしている施設に対する市の拠出する補助は。
- 菊池班長 29ページ、保育緊急確保事業補助金に含まれる。補助を行っている。
- 倉持委員 27ページ、みどりが丘保育園増築は、待機児童解消になっているのか。
- 菊池班長 今年の待機児童国の基準で8人、隠れ待機児童は8人である。去年の隠れ待機児童は40人なので待機児童解消になっている。

とりまとめ

- 前之園副委員長 ・認可外保育所の認可に向けた指導をされたい。
・児童手当の適正な事務を。

— 休憩 —

【地域づくり課審査】 午後2時30分～午後3時

出席職員：鶴岡課長、岡部副課長、片岡班長、佐久間班長
地域づくり課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

蛭田委員 10ページ、区長事務委託料について、区長からの報告は受けているのか。

鶴岡課長 現在、どのように報告を受けるか協議をしている。

石渡委員 区長事務委託料を区長はポケットに入れていた風習がある。ちゃんと管理をしないといけない。9ページ、ごみ袋有料広告の件数少ないのでは。創意工夫を。

前之園副委員長 17ページ、駅前トイレ、当初県から補助金をもらうはずだった。もらえなくなった経緯の説明を。

鶴岡課長 県補助を受けるには、便器を増やさなければならぬ面積が必要となる。面積も決まっていることから断念した。

田辺委員長 落札金額は。

岡田副課長 落札価格33,037,200円。

前之園副委員長 21ページ、九十九里水道、山武水道負担金の根拠を。

鶴岡課長 水道使用量75%、財政割25%により負担金を算出している。

田辺委員長 動物死骸について、敷地内の死骸は個人負担10,000円で処理してもらったと聞いた。なぜ、10,000円なのか。

鶴岡課長 公共用地にあるものは、公費で処理している。個人の土地で発生したものは、個人で処理してもらっている。10,000円のいきさつは分からないが、市民からの相談があった場合、金額、やりとりを今後検討したい。

前之園副委員長 19ページ、清掃組合負担金、年々減っているのか。減らすための工夫は。

岡部副課長 建設分の東金市にある焼却施設建物負担金の償還は昨年で終わった。今は小西の処分場の負担金が残っている。今後、新施設の用地、建設にかかる負担金が増えると思われる。

鶴岡課長 ごみの減量化に向けた施策を工夫して通常分の負担金の減に努める。

倉持委員 新施設の用地を公募して、4か所くらいになったと聞いているが。

岡部副課長 当初の8か所を4か所にしぼった。候補地として大網1か所、東金3か所になった。今後該当する地区に説明に入る予定。清掃組合から9月29日から随時説明に入ると聞いている。

倉持委員 どこから説明に入るのか。

岡部副課長 大網白里市からと聞いている。

石渡委員 19ページ、不法投棄監視員は、監視員としての役目をしているのか。不法投棄を把握しているのか。

佐久間班長 不法投棄監視員からは随時報告をしてもらっている。報告のあったものは対応している。

蛭田委員 14ページ、リサイクルを大いに進めてもらいたい。単価は下がっているのか。

佐久間班長 市からの資源再生利用奨励金の単価は、現在kg当たり3円である。何年前かに5円から3円に変わった。

とりまとめ

倉持委員 正副委員長に一任。

前之園副委員長 ・ごみの減量化と資源再利用の促進について、鋭意取り組まれない。

- ・住民協働事業については、行政提案型の事業を増やす等、事業の推進を図りたい。

— 休 憩 —

【大網病院審査】午後3時～午後3時34分

出席職員：志村院長、酒井事務長、松本班長
大網病院事務長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

- 蛭田委員 入院者減っているが、収入は増えている。外来患者減っているが、収入は増えているのだが。
- 松本班長 入院については、血液内科、がんの化学療法など高額治療の患者が増えているため。外来も同様な傾向である。
- 前之園副委員長 東千葉メディカルとの連携は。
- 志村院長 東千葉メディカルは救急に重きを置いた病院。大病院にない医療機能を持っている。大網病院で診れない患者を診てもらっている。治療がひと段落したら大網病院へ戻してくれる。うまく連携している。
- 田辺委員長 平成26年度の決算委員会のとりまとめとして、市民病院としての機能の充実を図るため医師、看護師の確保に努められたいとある。取り組みはいかがか。
- 酒井事務長 引き続き医師の確保に向け取り組んでいる。
- 松本班長 平成27年度、4月に内科医1名、1月に1名、年度当初より2名の内科医が増えた。看護師は、順調に確保している。平成28年4月から奨学金生が2名入った。毎年数名入ってくる予定である。
- 田辺委員長 現状としてまだまだ医師確保は必要か。
- 志村院長 100床当たりの平均的な医師は10人から15人である。今の医師は12人から13人なので、適正な数である。
- 前之園副委員長 検診の充実をはかることは、大事だと思うが。
- 志村院長 がん検診について受診の啓発をしていく。胃検診についてバリウム以外に胃の内視鏡検診を選択できるよう、健康増進課と協力して進めている。
- 蛭田委員 バリウムより内視鏡の方が確実だと思うが、かかる費用は。
- 志村院長 内視鏡検査は、10,000円前後想定している。保険診療より安くしたい。自己負担をどうするか検討中である。
- 倉持委員 大網には産科がない。東千葉メディカルに産科ができると聞いたが。
- 志村院長 東千葉メディカルは、4月からスタートしている。
- 森 委員 企業の保険診療を。
- 志村院長 柔軟に対処できるようしている。
- 石渡委員 医療機器で必要なものは購入していかないといけない。医療現場が困らないように。
- 志村院長 病院ができて20年経過した。補修しなければならぬものが増えている。今の医療は電子化避けて通れない。電子カルテを近隣病院は取り入れている。来年度に向けて取り組んでいる。

とりまとめ

前之園副委員長 ・市民病院としての機能の充実を図るため、医師、看護師の確保に努められたい。
・地域医療の充実のため東千葉メディカルとの連携を図られたい。

— 休 憩 —

【下水道課補足説明】 午後 3 時 3 5 分から午後 3 時 4 7 分

出席職員：御苑課長、小泉副課長、三宅班長、大塚班長

下水道課長 下水道事業受益者負担金に対する不納欠損について補足説明

(質 疑)

前之園副委員長 みどりが丘は排水区域内、建物がなくても負担金を取るのか。

御苑課長 みどりが丘は土地区画整理事業で整備した。整備した状況で移換を受けた。受益者負担金はもらっていない。

前之園副委員長 旧大網小付近とか建物なくても受益者負担金を取るのか。

御苑課長 新市街地以外の既存市街地に関しては、建物がなくても負担金をもらっている。

倉持委員 投資目的で土地を持っている人がいるが。

御苑課長 実際に住んでいない土地所有者の方には、理解を得られない人もいる。

前之園副委員長 監査の指摘により取り組んでいることから理解する。

石渡委員 受益者負担金は、理解されるのは難しい。資料にある改善策をとられるようしてもらいたい。

— 休 憩 —

3 採 決

【認定第 1 号採決】 午後 4 時 8 分～午後 4 時 2 3 分

田辺委員長 認定第 1 号 平成 27 年度大網白里市各会計歳入歳出決算の認定について、会計ごとに順次採決を行います。

はじめに、平成 27 年度大網白里市一般会計歳入歳出決算について、
原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成多数

よって、平成 27 年度大網白里市一般会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について、
原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成多数

よって、平成 27 年度大網白里市国民健康保険特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成多数

よって、平成 27 年度大網白里市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市土地取得事業特別会計歳入歳出決算について、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成総員

よって、平成 27 年度大網白里市土地取得事業特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成総員

よって、平成 27 年度大網白里市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成総員

よって、平成 27 年度大網白里市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市介護保険特別会計歳入歳出決算について、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成多数

よって、平成 27 年度大網白里市介護保険特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算について、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成多数

よって、平成 27 年度大網白里市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算について、

原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成総員

よって、平成 27 年度大網白里市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市ガス事業会計決算について、
原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成総員

よって、平成 27 年度大網白里市ガス事業会計決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

次に、平成 27 年度大網白里市病院事業会計決算について、
原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

賛成総員

よって、平成 27 年度大網白里市病院事業会計決算は、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

以上の結果をもって、委員長報告書を作成いたします。

以上をもちまして、認定第 1 号 平成 27 年度大網白里市各会計歳入歳出決算の認定に関する所定の審査のすべてを終了いたしました。

4 その他

5 閉 会